

千三百年の遠い昔に

よろこ
喜び多きを願ひ

創建された多賀城

国づくりの理想と

東北の大地の文化が

ふつかりながらも交じり合い

豊かな自然とともに

たおやかな暮らしを育んだみちのくの歴史

歴史は未来を教えてください

明日また始まる朝に誰かの笑顔が見られるように

明日また眠る前に自然の恵みに感謝できるように

ともに喜び多き明日を創りましょう

多賀城創建1300年記念事業 / 新時代の創作オペラ「多賀城創世記」から 火の鳥アリア「よろこびおおきしる」(lyrics)

TAGAJO 1300th Anniversary

Official Guide Book

多賀城創建1300年記念事業公式ガイドブック

主催 多賀城創建1300年記念事業実行委員会
(宮城県、宮城県教育委員会、河北新報社、NHK仙台放送局、多賀城市、多賀城市教育委員会)

共催 塩竈市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町

特別協力 JR東日本 東北本部、東北観光推進機構、奈良市、太宰府市、天童市

協力 多賀城・七ヶ浜商工会、多賀城市観光協会、多賀城市芸術文化協会

つなぐ、つなげる。1300年。



多賀城創建記念
TAGAJO 1300th Anniversary
724-2024

【発行元】

多賀城創建1300年記念事業実行委員会事務局

(多賀城市企画経営部市民文化創造課内)

〒985-8531 多賀城市中央2丁目1-1

TEL:022-368-2084 FAX:022-368-2369

【発行日】2024年1月1日

多賀城創建
1300年記念特設サイト



つなぐ、つなげる。1300年。

神亀元年（724年）に
奈良の平城京を中心とした律令政府によって
陸奥国府「多賀城」が創建されました

仙台平野を一望できる松島丘陵の先端に
今も残るその遺跡は
地元住民によって大切に保護され
古代の面影を伝えます

千三百年の記憶を刻む「多賀城」の大地に佇むと
過ぎ去ったはずの時間がそこに現れ

歴史は断片的に存在するのではなく
過去のいずれの時ともつながって今があり 未来へつながる
そんな普遍の真理を直感します

とともに 自分には
脈々と続いてきた全てのイノチの営みを
千年先の未来につなぐ役目がある
ということに思い至ります

さあ 未来へつなぐ門をくぐりましょう



多賀城創建1300年記念事業 主な開催日程

Schedule

(2024年1月1日時点での予定)

1月1日(月)～31日(水)	グランドプロモーション/JR 仙台駅、新青森駅、盛岡駅、秋田駅、山形駅、福島駅、郡山駅 ほか	
2月	東日本大震災伝承プロジェクト「奥羽綿津見盆踊」WS/多賀城市内/無料	
 3月	ことばのアートプロジェクト Vol.1/多賀城市内/無料	8P
4月9日(火)～6月9日(日)	春季特別展「世界遺産 大シルクロード展」/東北歴史博物館/有料	
 5月1日(水)～7月31日(水)	ライドアROUND in多賀城with松島ベイエリア/三市三町内/無料	7P
6月	多賀城跡あやめまつり/多賀城跡あやめ園(多賀城市市川)/無料	
 6月	光のインスタレーション/多賀城跡あやめ園(多賀城市市川)/無料	7P
7月21日(日)	東大寺サミット/多賀城市民会館大ホール/無料	
8月9日(金)	日本三大史跡ネットワーク企画 サザンオールスターズ最強トリビュートバンド KAWAMURABANDライブ/多賀城市民会館大ホール/有料	
 8月25日(日)	東北おまつりプロジェクト/多賀城跡/無料	9P
8月	多賀城市民夏祭り「ザ・祭りin多賀城」/無料	
 9月	千年先の未来への道灯り「光の道」Artプロジェクト/多賀城跡/無料	8P
 10月5日(土)、6日(日)	日本三大史跡ネットワーク企画 多賀城 Cinema Complex with なら国際映画祭/多賀城市民会館大ホールほか/有料	8P
10月12日(土)	令和の万葉大茶会・万葉まつり/多賀城市内/無料	
 10月～11月	ことばのアートプロジェクト Vol.2/多賀城市内/無料	8P
10月～12月	秋季特別展「多賀城1300年」/東北歴史博物館/有料	
10月～12月	企画展「古代都市多賀城」/多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室/無料	
 11月1日(金)	多賀城創建1300年記念式典/多賀城跡/無料	12P
 11月4日(月・休)	新時代の創作オペラ「多賀城創世記」/多賀城市民会館大ホール/有料	10P
11月7日(木)	歴史的景観都市協議会/多賀城市民会館小ホール/無料	
 11月22日(金)、23日(土・祝)、24日(日)	The winter's tale - みちのおくの国の冬物語/多賀城市民会館小ホール/有料	11P
11月	たがじょう秋祭り/無料	



事業の詳細は多賀城創建1300年記念特設サイトをご確認ください >>>

「宮城のはじまり、東北のはじまり。」 よろこび多き城 多賀城」

多賀城創建1300年記念事業は、多賀城創建以来の歩みを振り返りながら、長い歴史の中で先人が築き上げてきた固有の歴史や価値を、多様な文化プログラムを通して再認識し、後世にわたる地域の誇りとして磨き上げ、活力溢れる未来へのスプリングボードとなることを願って開催するものです。

基本理念

1 過去に学ぶ（歴史・文化の継承）

悠久の歴史を創り、文化を伝え、自然を守ってきたたくさんの方たちがいます。多賀城が創建されてから今日までの歴史を知り、そして、過去に学ぶことによって、再発見や新たな価値を生み出す不易流行の事業を展開します。

2 今を見つめる（賑わいと魅力の創出）

まちの活気はそこに住む人たちが創り出すものです。先人たちの弛まぬ努力があることにより、現在の“多賀城”があることに思いを寄せ、今を見つめ直します。皆で喜びと感動を共有し、賑わいと多賀城の魅力を創出します。

3 未来につなぐ（新たな多賀城の文化創造）

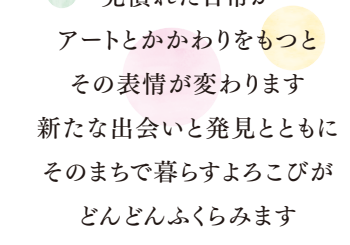
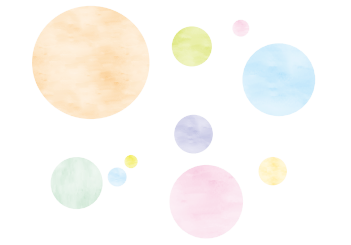
過去に学び、今を見つめ直すことは、未来に向けさらに豊かな文化を創造するということにつながります。古代の多賀城にヒト、コト、モノが集積し、多様な文化が創造された拠点であった過去を踏まえ、この土地が持つ潜在能力を現代に呼び起こし、その場（コト消費）、その時（トキ消費）でしか体験できない価値を、心豊かな暮らしを創造する種として未来へ育みます。

古代に陸奥国府が置かれた多賀城市は、東日本大震災以降、「東北随一の文化交流拠点」の実現を目指し、自然、歴史、文化、そして、温かな人の輪に囲まれながら、何気ない日々の中に、このまちならではの心豊かな喜びや幸せが感じられるよう、文化芸術のチカラを基軸としたまちづくりを進めています。



アートやデザインが持つ
創造性・多様性
というチカラは
まさに宝石のような
輝きを放たせます

見慣れた日常が
アートとかかわりをもつと
その表情が変わります
新たな出会いと発見とともに
そのまちで暮らすよこびが
どんどんふくらみます



めぐる

ライドアラウンド in 多賀城 with松島ベイエリア

日常の中にある見過ごしていた地域の魅力をめぐる自転車アクティビティ



多賀城創建期から多賀城に縁のある松島ベイエリア(塩竈市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町)にある歴史・観光資源や飲食店等を自転車でめぐり、日常にある地域の魅力を再発見する自転車アクティビティ。スマートフォンアプリを使って各地でポイントを集め、美味しいグルメやスイーツなどと交換して地域産品を堪能できます。追加ポイントがもらえるミッションや、豪華賞品を手に入れるチャンスもあって、多賀城と松島ベイエリアの隠れた魅力の再発見だけでなく、参加店との交流なども楽しめます。多賀城、松島湾一帯を自転車でめぐって楽しんでみませんか？

- 開催日：2024年5月1日(水)～7月31日(水)
- 会場：多賀城市と周辺地域(塩竈市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町) ●料金：無料
- 主催：多賀城創建1300年記念事業実行委員会 ●共催：塩竈市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町

光の彩

光のインスタレーション多賀城 2024

光で彩った多賀城の新たな価値



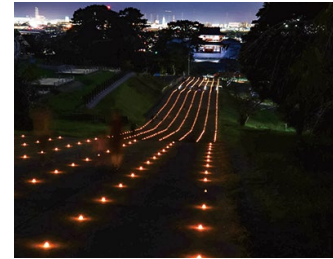
東日本大震災からの創造的復興とその先の未来に向けた希望の光となるよう、多賀城跡あやめ園に咲き誇る800種、300万本のアヤメ、ハナショウブ、カキツバタや多賀城碑などをほのかな光で演出します。青空の下、特別史跡の一角にある多賀城跡あやめ園内で咲き誇るあやめたちとは一味違う、ほのかな光に彩られたあやめと幻想的な雰囲気的空間をお楽しみいただけます。同時期に開催される初夏の風物詩ともいえる「多賀城跡あやめまつり」と合わせてぜひご来場ください。

- 開催日：2024年6月中旬 ●時間：各日19:00～21:00 ●会場：多賀城跡あやめ園(多賀城市市川)
- 料金：無料 ●主催：多賀城創建1300年記念事業実行委員会

光の道

千年先の未来への道灯り「光の道」Art プロジェクト

人々の歩みが道となり、光となる



東北における古代都市多賀城の面影を光のアートで可視化する「光の道」Artプロジェクト。古代多賀城における政庁正殿跡、政庁南大路や南北大路などを光により再現するとともに、多くの市民等と一緒にアートのチカラによって、千年先の未来への道灯りとなる「光の道」を創り上げます。

- 開催日：2024年9月 ●時間：各日18:00～20:00
- 料金：無料 ●会場：多賀城跡(多賀城市市川)
- 主催：多賀城創建1300年記念事業実行委員会

都文化
伝来

日本三大史跡ネットワーク企画 多賀城 Cinema Complex with なら国際映画祭

1300年の時を経て再び届く 奈良の都からの贈り物



今日まで連綿と紡がれる日本文化が花開く時代を共に歩んだ多賀城と奈良。当時、都の多彩な文化が多賀城に伝わってきたように、2010年に奈良で始まった「なら国際映画祭」という芸術文化に多賀城の地で触れる「多賀城 Cinema Complex with なら国際映画祭」。NPO法人なら国際映画祭協力のもと、同法人の映画製作プロジェクトであるNARActive(ナラティブ)の作品を中心とした映画を市内複数か所でも上映します。

- 開催日：2024年10月5日(土)、6日(日) ●会場：多賀城市民会館大ホール(文化センター内)ほか ●料金：有料
- 主催：多賀城創建1300年記念事業実行委員会 ●協力：奈良市、なら国際映画祭実行委員会

ことばの
チカラ

ことばのArtプロジェクト

ことばは心を動かす、行動を促す、チカラをもたらす



多賀城の創建を明らかにした多賀城碑に刻まれた「ことば」。そして、松尾芭蕉が多賀城碑に直面して感涙したことを『おくのほそ道』に記して伝えるのも「ことば」。古代から1300年の時を経た今、「ことば」に光を照らし、「ことば」に込められた思い、「ことば」が持つチカラを千年先の未来へと紡いでいく、ことばのArtプロジェクトを開催します。

- 開催日：2024年3月、10月～11月 ●会場：多賀城市内
- 料金：無料 ●主催：多賀城創建1300年記念事業実行委員会

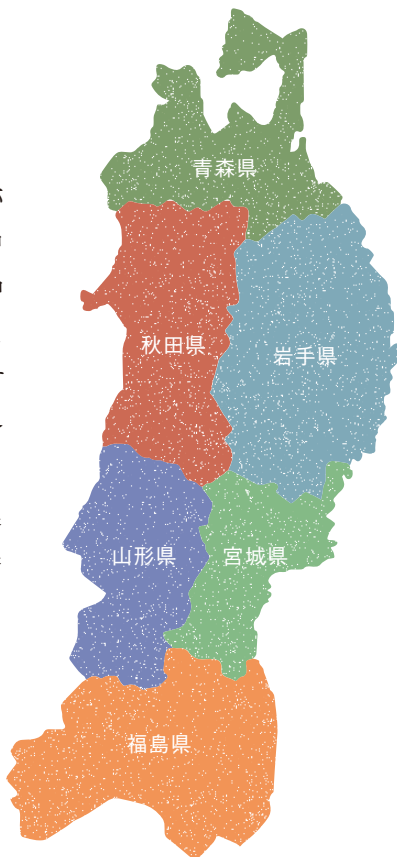
起

東北おまつりプロジェクト

多賀城創建1300年を祝うグランドフェスティバル

東北6県の複数の伝統芸能団体が多賀城跡に集結し、千三百年という悠久の歴史の中で紡がれてきた東北地方のイノチの営みの中にある「いのちのリズム」を和太鼓で、絶え間ない流れの中にある「動」を踊りで表現することにより、多賀城創建1300年を東北各地の人々とともに賑やかに祝います。

東北各地に根付く伝統芸能が多賀城跡に集結し、地元宮城を拠点に活動する和太鼓奏者「Atoa.」と共演します。



- 開催日：2024年8月25日(日) ●会場：多賀城跡(多賀城市市川) ●料金：無料
- 主催：多賀城創建1300年記念事業実行委員会

※詳細な情報は随時お伝え致します。多賀城創建1300年記念特設サイトにて最新情報をご確認ください。

承

新時代の創作オペラ

多賀城創世記

多賀城の創建の歴史を辿り、今を見つめ未来へつなぐ

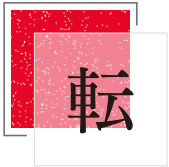


テーマは「歴史は未来を教えてくれる」、「ともに生きる」。

歴史は断片的に存在するのではなく過去のいずれの時ともつながって今があり、未来へとつながっています。多賀城の創建まで、そして、創建からの1300年。連綿とこの土地に刻まれてきた「記憶」を、交響楽と映像と歌で綴る新時代の創作オペラ。市民参画のもと、プロ・アマ共同で公演します。

- 開催日：2024年11月4日(月・休)
- 会場：多賀城市民会館大ホール(多賀城市文化センター内) ●料金：有料
- 主催：多賀城創建1300年記念事業実行委員会

※詳細な情報は随時お伝え致します。多賀城創建1300年記念特設サイトにて最新情報をご確認ください。



The winter's tale - みちのおくの国の冬物語

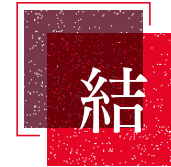
東日本大震災を経験したすべての人に贈る「喪失と再生」の物語



テーマは「喪失と再生」、「生きる喜び」、「多様にあふれた未来」、「希望」。
陸奥国府多賀城が創建された古代の東北地方を舞台にウィリアム・シェイクスピアの「冬物語」を「みちのおくの国の冬物語」として翻案し公演します。市民参画のもと、東日本大震災の被災地で暮らす人々が生きている喜びを感じ、これからを生きる“よすが”（拠り所、手がかり）となるものを創発します。

- 開催日：2024年11月22日(金)～24日(日)
- 会場：多賀城市民会館小ホール(多賀城市文化センター内)
- 料金：有料
- 主催：多賀城創建1300年記念事業実行委員会

※詳細な情報は随時お伝え致します。多賀城創建1300年記念特設サイトにて最新情報をご確認ください。



多賀城創建 1300年記念式典

1300年記念事業の集大成、そして、千年先の未来へ



古代国家形成の上で重要な役割を果たし、宮城のはじまり、東北のはじまりとも言える「多賀城」の創建1300年を多くの方々と迎える記念式典。
式典では、古代の行事や儀式を再現、また、不変の価値と移りゆく新たな価値を融合させ、陸奥国府 多賀城の起こりを「naturallyな色と音の世界」を通して表現するアーティスティックなプログラムが盛り込まれます。千年先の未来に紡いでいく思い、メッセージを発信します。

- 開催日時：2024年11月1日(金)午後～ ●会場：多賀城跡(多賀城市市川)
- 料金：無料 ●主催：多賀城創建1300年記念事業実行委員会

※詳細な情報は随時お伝え致します。多賀城創建1300年記念特設サイトにて最新情報をご確認ください。

歴史を紐解く。思いを馳せる。

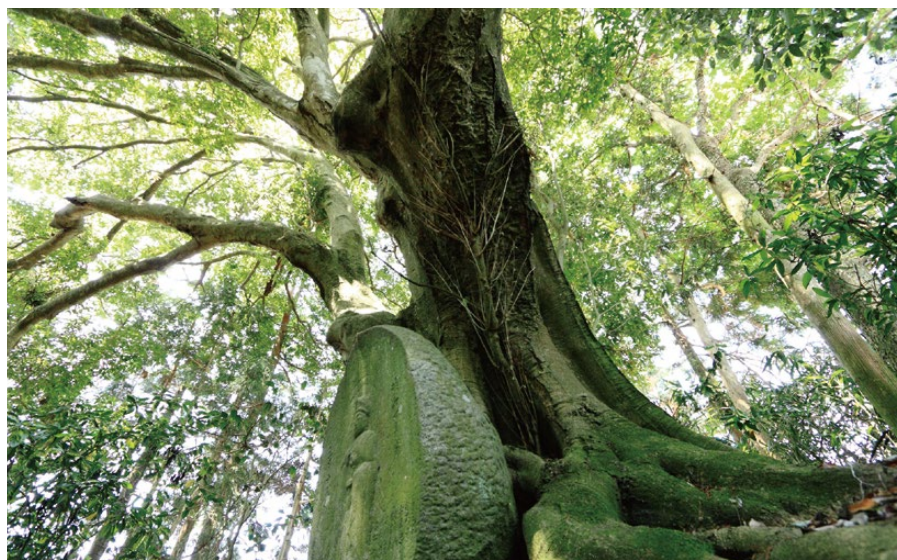
多賀城は、奈良に都が置かれた奈良時代に創建された東北全域を治めた一大官衙です。その遺跡は、一辺が900mほどの東辺がやや長い不整な方形です。

発掘調査の結果、中央部に一辺が100mほどの築地ついでと呼ばれる土塀で囲まれた、政治や儀式の場である政庁があること、また外郭は築地で囲まれ南・西・東に門が開かれていること、さらに城内には実際の事務を行う建物が配置されていることが判明しています。

西の大宰府が九州全域を治め、中国・朝鮮に対する外交の窓口としての小政府的機能を有したのに対し、東の多賀城は規模こそ小さいものの、東北一円を治め、北方世界に対する外交政策を行ったという共通点を持ちます。

江戸時代の初め、多賀城碑の発見によりその遺跡が多賀城跡であることが判明して以来、地元の人々を中心に保護顕彰活動が続けられ、大正11年には国の史跡に、昭和41年には特別史跡に指定され、奈良の平城宮跡、九州の大宰府跡とともに日本三大史跡に数えられています。

多賀城は、ときの朝廷と北方世界に住む人々との軋轢の中で歴史が刻まれてきましたが、一方で、各地からのヒト・モノが交流する東北随一の文物・文化の拠点として繁栄したところでもあります。



平城京や平安京から赴任した人々が美しい自然や名所・旧跡を歌に詠み、「歌枕」となるなど、多賀城は都人の憧れの場所でもありました。都人が未だ見ぬ多賀城に思いを馳せ、その思いを「歌枕」に込めて詠まれた和歌が多数残っています。松尾芭蕉もその「歌枕」の一つつばのいしふみ「壺碑」を訪れ、千年の時を経て変わらず残るその碑の存在に涙を流し、感動したと『おくのほそ道』に記しています。古来から古今東西の文人墨客の文学的探求心をかき立てる歴史遺産が多賀城には数多くあるほか、歴史遺産の周辺では自然の植物に心を寄せた官人らが和歌を楽しんだ万葉時代の自然豊かな草花の植生を思い浮かべることができます。現在、多賀城政庁正殿跡には多賀城が最も栄えた往時の礎石が残り、その多賀城の正門である南門から城内に入ってすぐのところ、千年以上前に多賀城創建の時期が刻まれた多賀城碑が佇みます。そしてその横に今まさに多賀城創建1300年を記念して「多賀城南門」が復元されようとしています。

西暦2024年、創建から1300年という節目の年を迎え、多賀城政庁跡から多賀城南門を見下ろす風景がよみがえり、奈良・平安時代の風を今に感じることができます。



おわりに

神亀元年（724年）に創建され陸奥国府が置かれるなど、古代東北の政治・文化の中心として繁栄した「多賀城」が、令和6年（2024年）に創建1300年という記念すべき年を迎えました。

この百年に一度という歴史的にも稀有な機会を、多賀城市はもとより、宮城、東北、そして、全国の皆様とともにお祝いできるその喜びに大きな感動を覚えるとともに、地元の首長として身の引き締まる思いです。

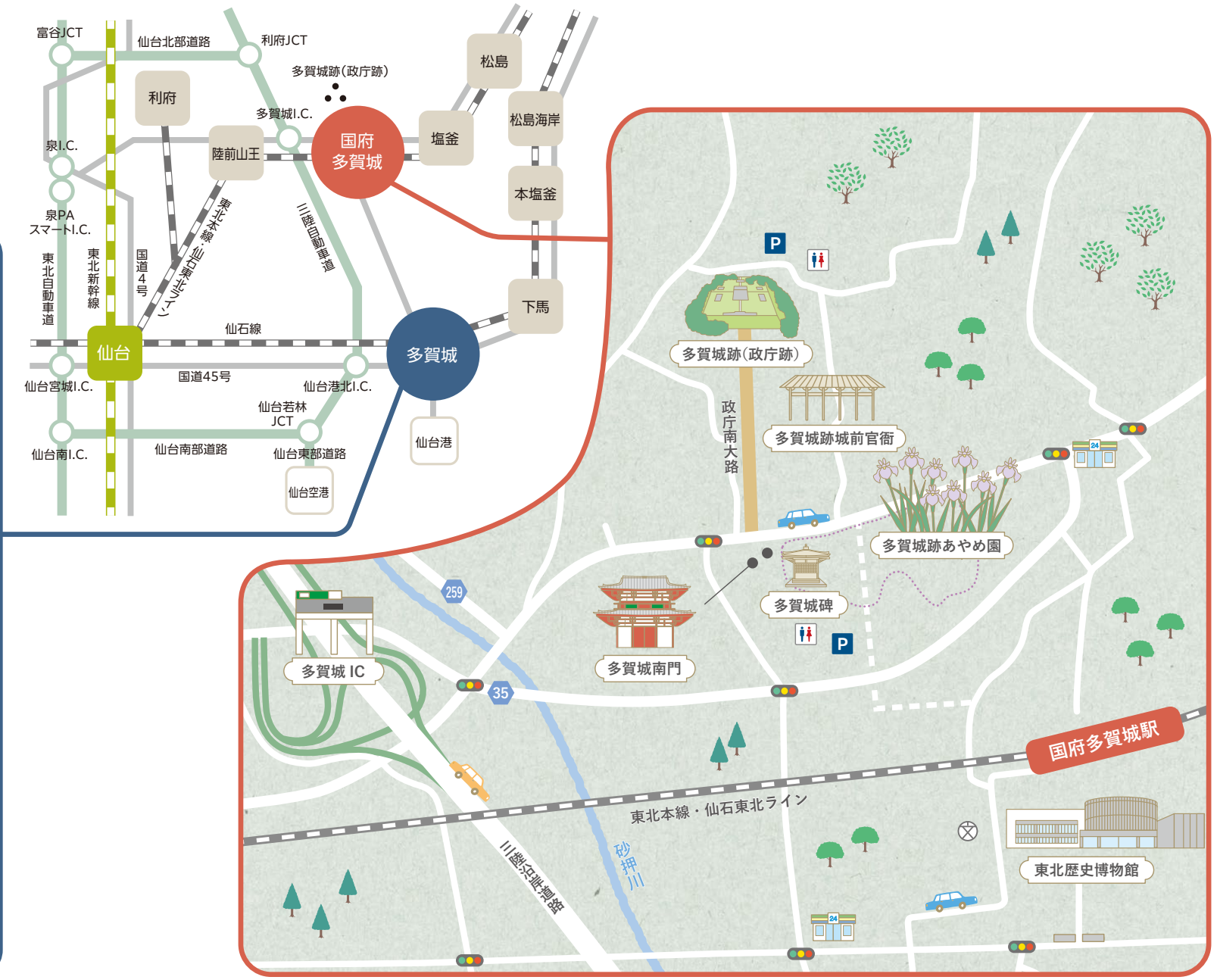
宮城のはじまり、東北のはじまりとも言える多賀城の歩みとともに、先人から受け継いできた悠久の歴史や文化、そして豊かな自然などの大変貴重な郷土の資源の価値を改めて知ることとはもとより、こうした資源を支えてきた先人たちへの深い感謝とともに次世代に継承することが、今を生きる私たちの役目であることを胸に刻みたいと思います。

多賀城創建1300年記念事業が、幸せにあふれた未来を共に創っていくスプリングボードとなりますことを心から願っています。



令和6年1月
多賀城創建1300年記念事業実行委員会 会長
多賀城市長 深谷 晃祐

ACCESS MAP



JR線でのアクセス

●仙石線	仙台駅	約22分	多賀城駅	約7分	本塩釜駅	約10分	松島海岸駅	
●東北本線	仙台駅	約14分	国府多賀城駅	約2分	塩釜駅	約8分	松島駅	

車でアクセス

●東北自動車道	仙台南IC	仙台南部道路	仙台若林JCT	仙台東部道路	多賀城IC	多賀城	約40分
●一般道	仙台	国道45号	多賀城				約30分

(多賀城碑、多賀城跡、東北歴史博物館の最寄り駅は国府多賀城駅です)